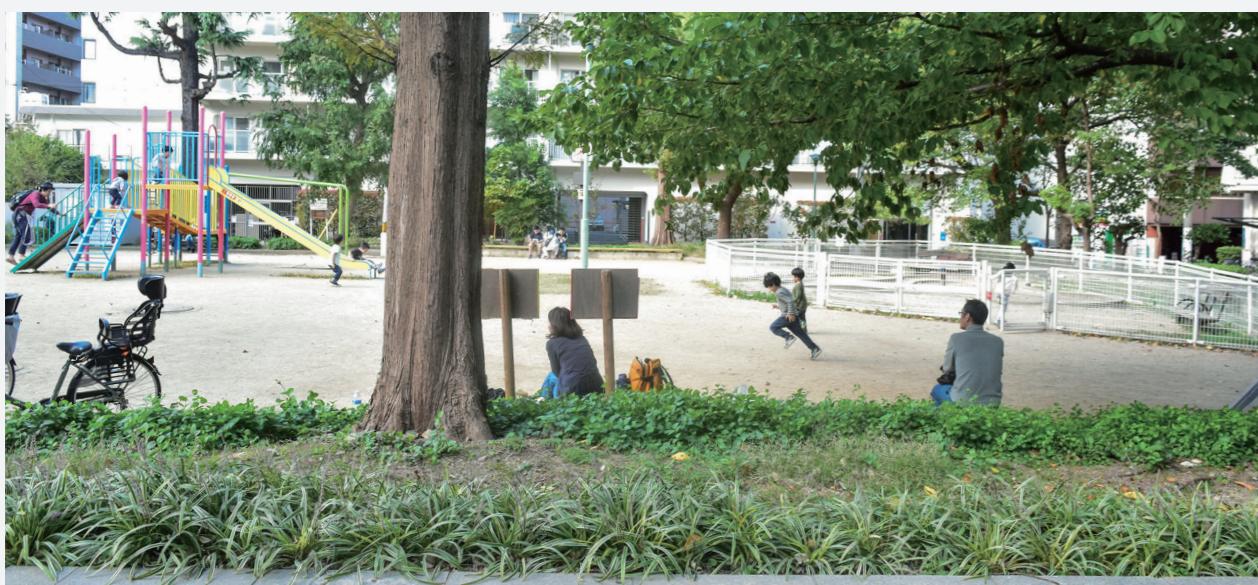


「まちを活性化する公園のリノベーション」

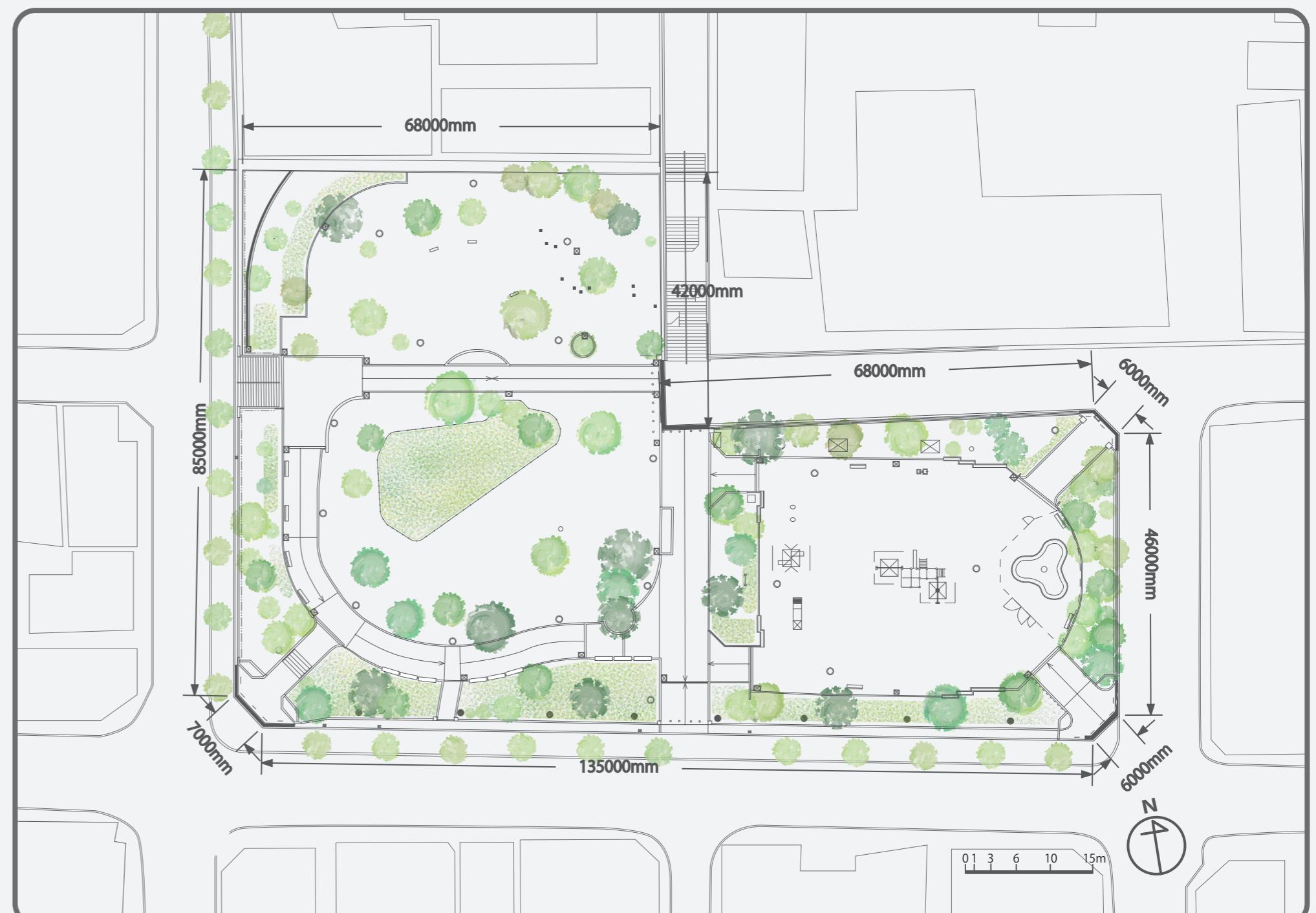
～北大江公園 たそがれコンサートを事例に～

北大江公園の概要

北大江公園とは、大阪府大阪市中央区石町 1、島町 1 に位置する街区公園である。面積は 5484 m²で 1960 年（昭和 35 年）に開園した。開園後は、周辺にすむ団塊世代の子供たちの遊び場として活躍した。70 年代に入ると大阪では千里や泉北にニュータウンが築かれるなど、郊外の開発が進み、都心からの人 口流入が始まるが、そんな中でも北大江公園は北大江に住む団塊ジュニア世代の子育ての場として利用された。80 年代に入る頃になると、北大江への勤め人の減少や、子どもの減少により公園への来園者は減っていった。その影響を受け、北大江公園も 90 年になる頃にはごみが散乱し、周辺環境も悪化の一途を辿っていた。しかし 90 年代後半に入る頃、地域の住居者や事業者等の融資が集り 1998 年 10 月に「北大江まちづくり実行委員会」が誕生し清掃活動等を行うようになる。また同年 12 月に大阪市まちづくり推進団体の認定を受け、北大江公園を拠点としたまちづくりが行われるようになる。2002 年から公民協働による 4 度のワークショップを重ね、2003 年には公園のリニューアル案が完成、翌年には施工が始まり、2007 年に公園のリニューアルが完了。その後は公園が多くの人で賑わう開放的な場所へと生まれ変わり、今では地域の交流の拠点として機能している。



目中は多くの人々で賑わう



リニューアル後の北大江公園（2018年10月作図）

北大江たそがれコンサート

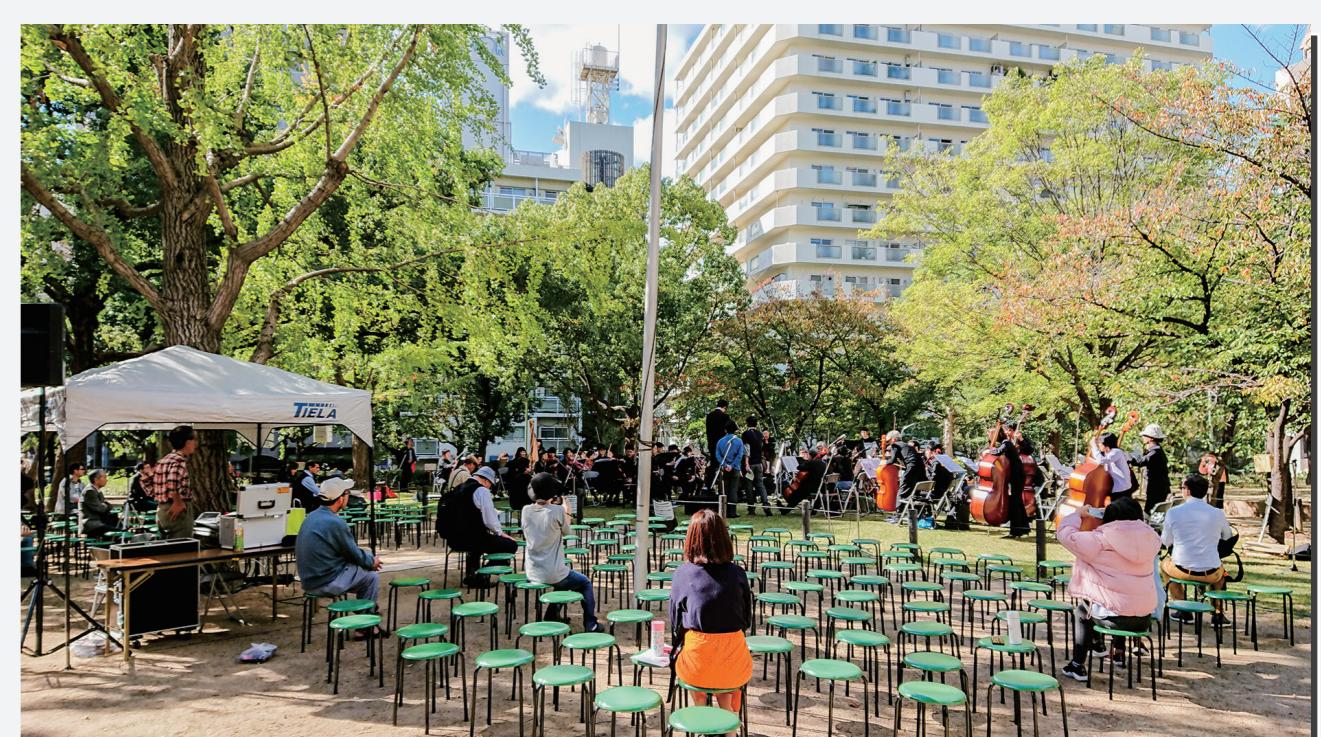
2007 年の北大江公園のリニューアル後、公園の芝生広場を舞台にはじまったのが「北大江たそがれコンサート」である。きれいによみがえった公園の完成を祝い、関係者内で行った打ち上げコンサートを行ったことをきっかけに始まった。その後、まちで暮らし、働き、学ぶ人たちが出会い、つながる機会が持てないかという想いが発端となり、コンサートは翌 2008 年から定期化、週間開催化し「北大江たそがれコンサート Week」に発展。開催場所も飲食店や企業のロビーなど公園外へも広がりはじめ、街の魅力が発信されるなどの地域還元が行われていることがわかる。また地域に集積する楽器商・楽器工房とのつながりも生まれ、その協力により多彩な演奏者による多様なプログラムが組まれるなど、野外コンサートの魅力も増している。



今年度のフライヤー



いつもの休日より多くの人にぎわう遊具のある広場



リハーサルの段階からちらほらと観客が集まり始める



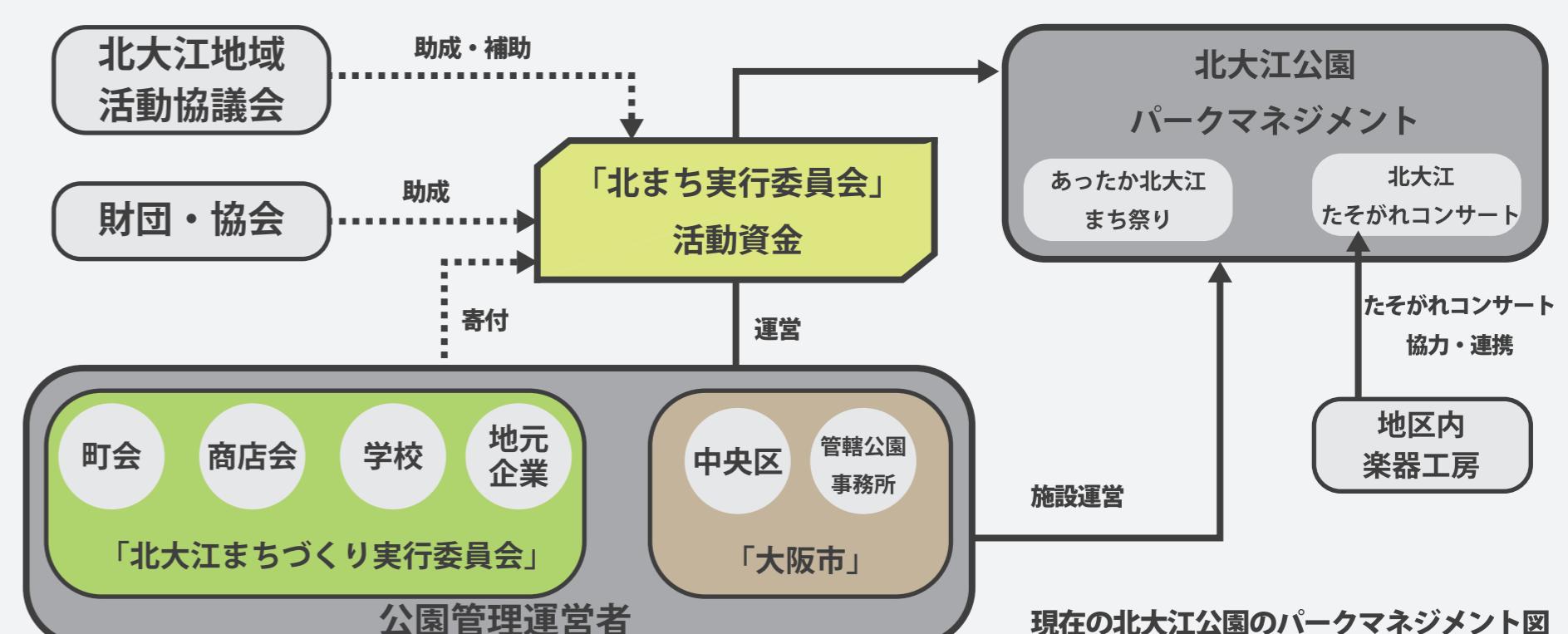
プロの演奏家と地元中学を卒業した方々が共演



北大江公園での演奏会後、北大江にある地元企業が運営している「丸善ボタンギャラリー」にてアイリッシュ・ライブが開催

街区レベル公園でのパークマネジメントの在り方

北大江公園のパークマネジメントに関わる個人・団体・企業は図の通りである。公園の管理運営には、大きく分けて「北大江まちづくり実行委員会」と「施設管理者の行政」が関わっている。北大江まちづくり実行委員会は、北大江地域に縁のある地縁で結ばれた団体であり、そこからの寄付、北大江地域活動協議会や、財団法人・協会などから助成を受け、その資金を元に北大江公園のパークマネジメントを行っている。北大江公園のパークマネジメントで重要な公園活用法である「たそがれコンサート」は、地区内楽器工房からの協力・連携により、行われている。こうした工房の取り組みは、地域の魅力発信力を高め、都市全体の魅力が高まる取り組みであり、北大江公園のパークマネジメントから、都市の魅力を高めるまちづくりへと展開した事例の1つであるといえる。つまり「北大江たそがれコンサート」は公園活用という側面と、北大江という土地の利活用の2つの側面をもつ、まちづくり活動であり、街区レベル公園における地域参画イベントを主体としたパークマネジメントの在り方の一つとなりうるのではないかと考えられる。



現在の北木江公園のパークマネジメント図

日本造園学会関西支部 パークマネジメント研究部会